

第1回 海田町上下水道事業経営審議会 議事録

日 時：令和6年10月18日（金） 10:00～11:30

場 所：海田町役場 3階会議室

1 開会・町長あいさつ・委員紹介

司会が開会を宣言し、町長があいさつを行った。次に、司会が委員及び事務局の紹介を行った。

2 議事

(1) 会長及び副会長の選出について

会長は福山市立大学准教授 清水 聡行氏に、副会長は広島修道大学教授 山崎 敦俊氏に決定した。

(2) 諮問事項 海田町水道ビジョンの改定について

現在改定中の海田町水道ビジョンのたたき台について、事務局が説明を行った。

【意見等】

会 長	国信浄水場と蟹原浄水場では、伏流水と地下水のどちらを優先して使用しているか。
事 務 局	どちらの浄水場も基本的に伏流水を優先して使用している。ただし、降雨などで濁度が上昇した場合は、地下水を使用している。
委 員	収益的収支の見通しについて、減価償却費を含めているか。
事 務 局	減価償却費を含めて算定している。
会 長	減価償却費は現金の支出ではなく、現金が企業内部に留保するものである。その留保資金を資金的支出に補填したうえで、赤字となる見通しという理解でよいか。
事 務 局	ご理解のとおりである。
会 長	現状の財政見通しであれば、料金回収率を100%以上とする目標値は達成できないと考える。
事 務 局	将来的に料金改定を実施することも見据えて、100%以上と目標値を設定している。
委 員	水道水があることが当たり前の生活となっている。水道水が止まらないことが重要であり、水道施設を維持していくために水道料金の値上げも仕方ないと考える。
事 務 局	住民の皆様安全で安心な水道水を供給することが最も重要と考えており、水道料金を含めて必要な見直しをしていきたい。

会 長	海田町の水道料金は、広島県内で安価に設定されている。なぜ安価であるのかということを住民に知ってもらうことは、今後、施策を進めていくうえで必要と考える。
委 員	私も海田町の水道料金が安価であることは知らなかったもので、住民に向けてPRした方が良いと考える。
委 員	水道管の凍結や破裂等の小さな災害が発生した際にすぐに対応していただくことも安心・安全につながると考える。指定工事業者や組合に対する指導を安心・安全の取り組みに含めていただきたい。
事 務 局	現状、指定工事業者等への指導は行っているが、工事業者数が減少しており、対応が困難な状況もある。引き続き、進めていく。
会 長	埋設管路の状況は把握することが難しい。近年では100年程度は使用可能と言われているが、地質状況や荷重条件によって、劣化状況は異なる。海田町ではこれらを踏まえて、優先度を考慮し、更新を行っている。
副 会 長	水道料金が他の事業体より安価であることについて、自然流下の活用などの地形的要因もあるが、経営指標による評価より、効率的な事業運営を実施していると考ええる。
会 長	会計年度職員等を活用し、効率的に事業運営してきたが、今後も継続していくことは難しくなり、委託費の増加に伴い、料金回収率が低下することが見込まれる。全国的に職員数不足により委託費等のコストが増加する傾向にある。 また、民間企業では商品の料金見直しを短いスパンで検討している。インフラ事業であるため、民間企業のように短いスパンで料金見直しすることは難しいが、近年の人件費・材料費・燃料費の高騰を踏まえて、3～5年スパンで財政計画を見直し、必要であれば料金改定を行うことが必要となる。これらのことを住民の皆様に理解していただきながら、進めていくことが重要である。

3 閉会・事務局あいさつ

会長が閉会を宣言し、事務局があいさつを行った。